

別紙3 VALUEルーブリック： 批判的思考

定義 批判的思考とは、知的習慣として、何らかの意見や結論を受け容れたり表明したりする前に、課題事項や考え、制作物や出来事などについて包括的に吟味することを指す。(本ルーブリックでは、ベンチマークレベルに達していない成果物には0(ゼロ)をつけること)

(注 本資料は *Assessing outcomes and improving achievement: Tips and tools for using rubrics* (p. 25), by AAC&U, 2010, Washington, DC: Author より訳出)

	キャプション (4)	マイルストーン (3)	マイルストーン (2)	ベンチマーク (1)
課題事項の説明	批判的に考察すべき課題や問題が明確に表現され、完全な理解に必要な関連情報が網羅されて包括的に説明されている。	批判的に考察すべき課題や問題が表現され、説明され、明確化されており、欠けている部分があったとしても理解は十分と判断される。	批判的に考察すべき課題や問題が表現されているが、その説明において、未定義の用語があったり曖昧な点があったり範囲や背景が明示されていなかったりする。	批判的に考察すべき課題や問題が表現されているが、明確さや説明に欠ける。
根拠 (考え方や結論を検討する際に選択し利用する情報)	情報を得る際に十分な解釈や評価が行われ、包括的な分析や統合に至っている。専門家の意見が様々な点から吟味されている。	情報を得る際に十分な解釈や評価が行われ、首尾一貫した分析や統合に至っている。専門家の意見が吟味されている。	情報を得る際にある程度の解釈や評価が行われているが、首尾一貫した分析や統合に至っていない。専門家の意見が事実のように扱われ、殆ど吟味されていない。	情報を得る際に何ら解釈や評価が行われていない。専門家の意見が事実として扱われ、全く吟味されていない。
文脈や暗黙の前提の影響	ある立場を主張する際には、遺漏なく(体系的かつ綿密に)自身や他者の暗黙の前提を分析し、入念に文脈の関連性を評価している。	ある立場を主張する際には、自身及び他者の暗黙の前提や関連文脈の存在を了解している。	暗黙の前提を問う。ある立場を主張する際には関連文脈の存在を了解している。他者の思い込みについて自身の思い込みよりも気づいている(逆の場合もある)。	暗黙の前提の存在に気づき始めている(場合によっては、主張を根拠不明確な思い込みと見通すことができる)。ある立場を主張する際には文脈の存在に気づき始めている。
学生の選ぶ立場 (観点や見解・仮説)	特定の立場(観点や見解・仮説)が想像力豊かに表明され、課題事項の複雑さを考慮している。その立場の限界も理解されている。他者の観点をその立場に統合している。	特定の立場(観点や見解・仮説)が表明され、課題事項の複雑さを考慮している。他者の観点もその立場から認めている。	特定の立場(観点や見解・仮説)が表明され、課題事項の他の側面にも言及している。	特定の立場(観点や見解・仮説)が表明されているが、単純で明白なものに過ぎない。
結論及び関連した帰結 (含意や影響)	結論及び関連した帰結(含意や影響)が論理的であり、学識ある評価がなされたことを示すとともに、根拠や様々な観点を重要性から判断できる能力を反映している。	結論が一定範囲の情報と論理的に結び付けられ、相互に対立する観点も含まれている。関連した帰結(含意や影響)が明示されている。	結論が論理的に情報と結び付けられている(望まれる結論に合うように情報が選択されているため)。一部の関連した帰結(含意や影響)が明示されている。	結論に、それまで議論されている情報と矛盾する部分がある。関連した帰結(含意や影響)が単純化され過ぎている。